

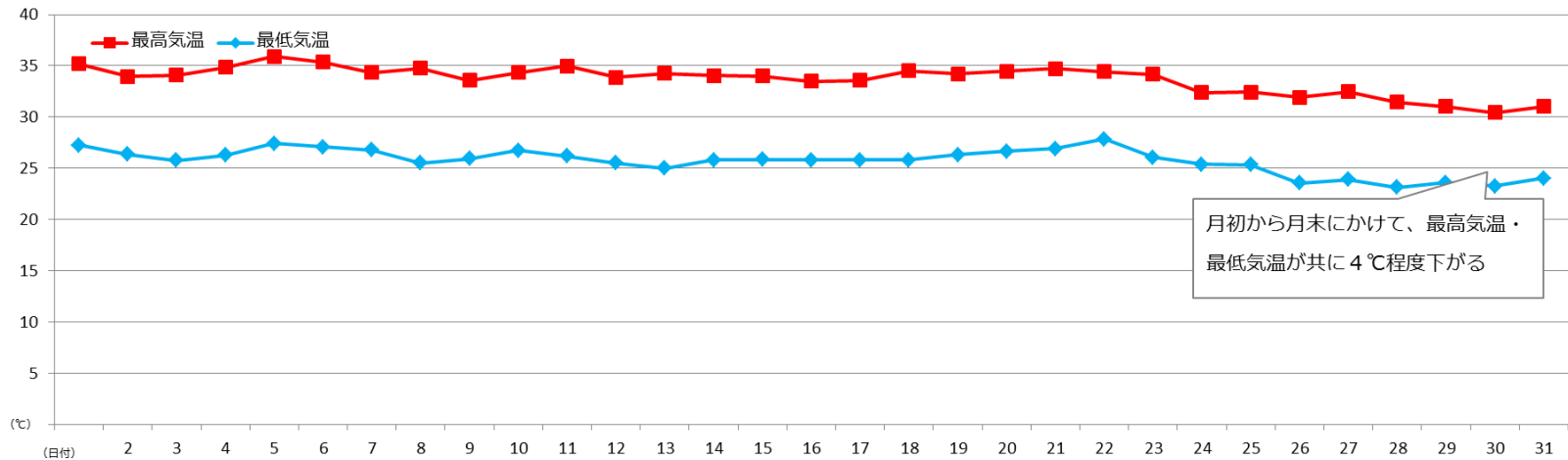
➤ Food Market

# MA**▲**STER PLAN

2018  
August

8

■ 8月の気温 (大阪：2013年～2017年の平均値) ※気象庁統計データを引用

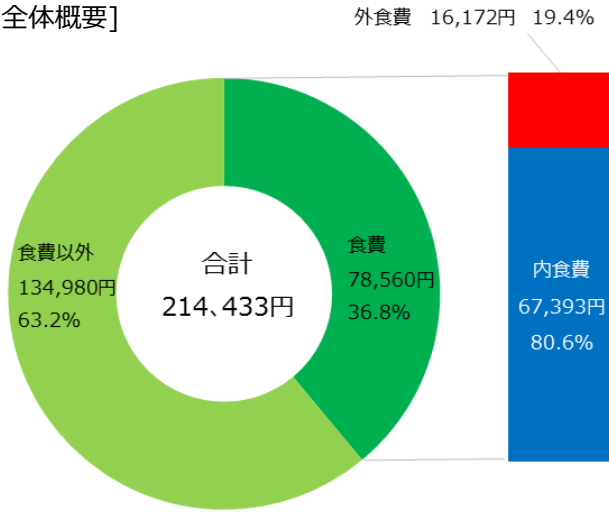


[ 8月の各地の気候 ]

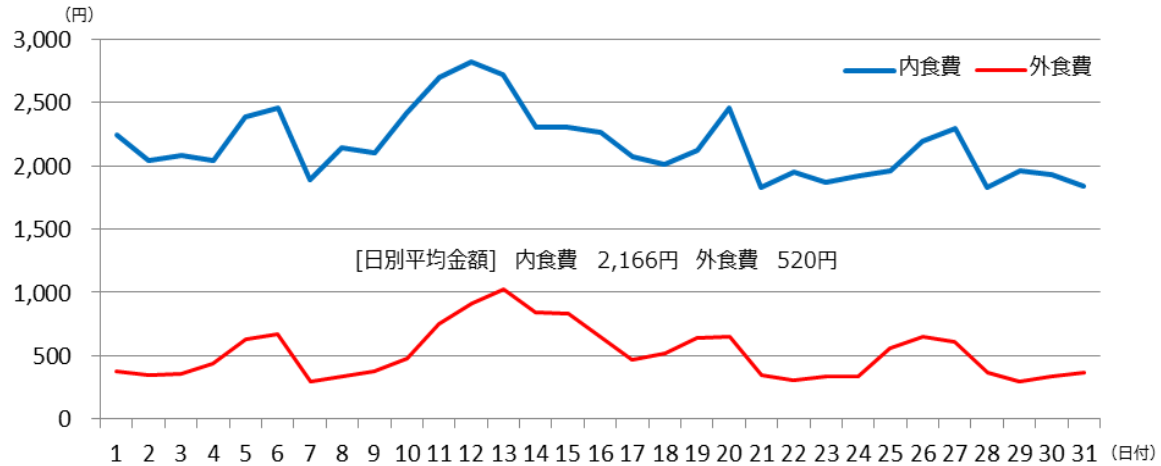
	平均気温 (前月差/平年差)	降水量 (前月比/平年比)
札幌	21.7°C ( -1.2°C / -0.6°C )	78.5mm ( 104.0% / 63.4% )
仙台	23.0°C ( -2.1°C / -1.2°C )	219.0mm ( 120.3% / 131.2% )
東京	26.4°C ( -0.9°C / -1.0°C )	141.5mm ( 174.7% / 84.1% )
名古屋	28.1°C ( 0.0°C / 0.3°C )	221.5mm ( 83.6% / 175.4% )
大阪	29.2°C ( 0.4°C / 0.4°C )	104.5mm ( 229.7% / 115.0% )
広島	29.0°C ( 0.6°C / 0.8°C )	98.5mm ( 56.4% / 88.9% )
高松	29.4°C ( 0.7°C / 1.3°C )	192.5mm ( 138.5% / 224.4% )
福岡	29.5°C ( 0.1°C / 1.4°C )	95.5mm ( 65.4% / 55.5% )

※日本チェーンストア協会HP参照

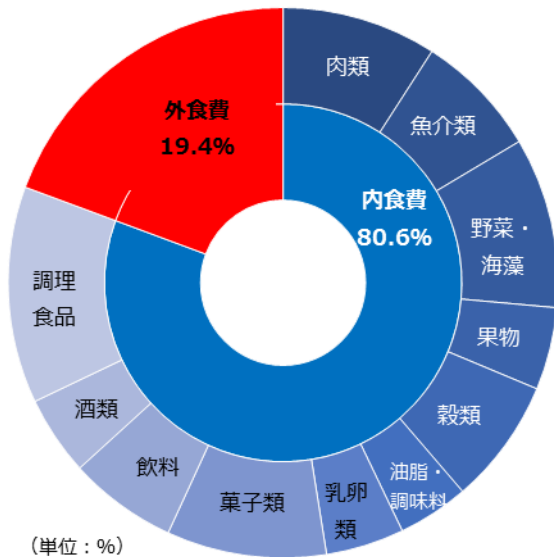
[全体概要]



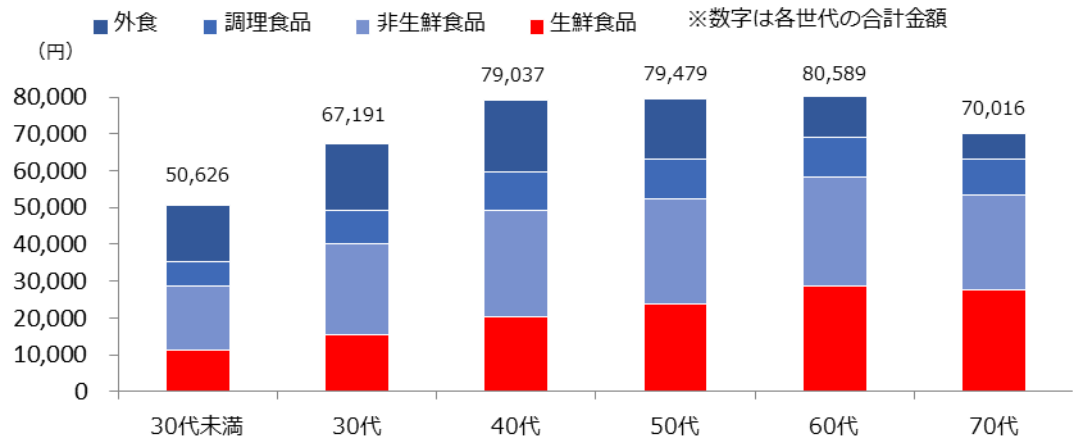
[内食費と外食費の比較]



[食料費の部門別構成比]



[世代別食料費構成]



- ・生鮮食品 — 肉類、魚介類、野菜・海藻、果物
- ・非生鮮食品 — 穀類、乳卵類、油脂・調味料、菓子類、飲料、酒類
- ・調理食品 — 惣菜

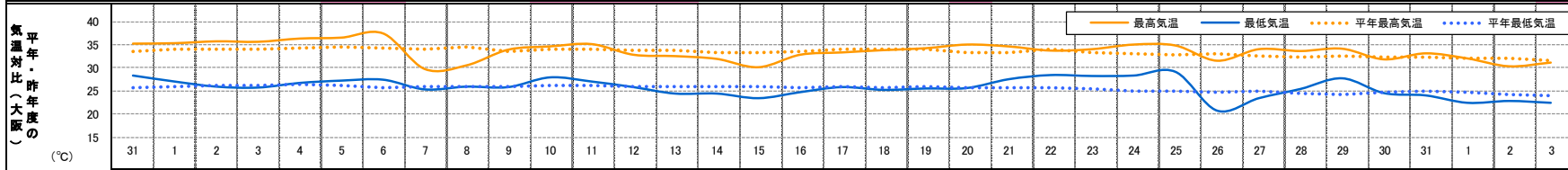
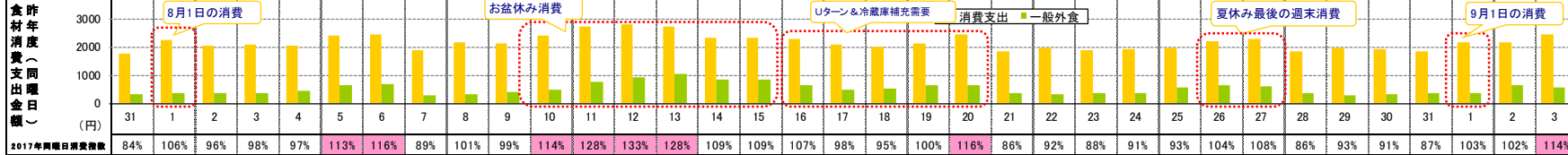
※総務省家計消費支出参照

W	31W					32W					33W					34W					35W														
日	7/30	31	8/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	8/31	9/1	9/2
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
行催事			水の週間・食品衛生月間																																

8月の暮らしのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの生活</li> <li>サマーレジャーを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お盆の準備</li> <li>ふるさとへ帰省</li> <li>お盆のお供え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お盆の家族の団樂</li> <li>地域の夏祭り</li> <li>帰省Uターン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏バテなどの疲労回復</li> <li>秋の味覚が気になる</li> <li>新学期準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学期準備(朝食・弁当材料)</li> <li>残暑が厳しく夏バテ対策</li> <li>秋の食材を楽しむ</li> </ul>
------------	---	--	--	--	---

生活者の8月の暮らし ※ 平年の生活動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オートキャンプなどを楽しむ。</li> <li>■ 花火大会へゆかたで行く。</li> <li>■ 節電・節水に努める。</li> <li>■ 日焼け対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ TVで高校野球を楽しむ。</li> <li>■ 熱帯夜が続く。</li> <li>■ 残暑見舞いイガキを出す。</li> <li>■ 清涼飲料水・ビールの季節。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜お盆休み＞</li> <li>■ お盆休みを利用して海外旅行へ。</li> <li>■ お盆で帰省してくるおもてなしの準備。</li> <li>■ お盆休みDIYを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 夏休みの最後の休日をエンジョイする。</li> <li>■ 子供の夏休みの宿題の追い込みや点検。</li> </ul>
----------------------	---	--	---	--

子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小学生スポーツクラブの合宿</li> <li>■ 小学生・中学生・高校生の夏期講習</li> </ul>	＜中学・高校クラブ合宿＞	＜高校生・夏の大会実施＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一部地域で2学期始まる。</li> <li>■ 北海道で2学期始まる</li> </ul>
--------	---	--------------	--------------	--



天候変化	曇一時晴	曇	薄曇時々晴	晴	晴後曇	晴、雷を伴う	晴	大雨	曇時々雨後時々晴	晴後時々薄曇	晴一時曇	曇一時雨後晴	曇後一時晴	曇時々晴	曇一時晴	曇時々雨	曇時々晴	晴時々曇	晴一時雨、雷を伴う	晴一時曇	薄曇	晴時々曇	曇、雷を伴う	晴	曇後時々晴	曇一時雨	薄曇	曇後晴	晴	晴	曇後晴
------	------	---	-------	---	-----	--------	---	----	----------	--------	------	--------	-------	------	------	------	------	------	-----------	------	----	------	--------	---	-------	------	----	-----	---	---	-----

食卓テーマ	涼味/真夏の行楽/スタミナメニュー	帰省/お盆の準備	お盆の団樂/秋の味覚/普段の生活	残暑対策/体調を整える	新学期準備/夏休み最後の週末
-------	-------------------	----------	------------------	-------------	----------------

食生活テーマ・動向マップ

真夏の涼味・スタミナメニュー 本格的な真夏の涼味やアイス、飲料、スタミナ料理の時期になります。

残暑夏バテ対策 消化・栄養バランスの良い、野菜をたくさんとれるもの、食欲のでるもの、など夏バテしない工夫

帰省ラッシュ お盆休み Uターン

夏レジャー この頃はレジャー・旅行で 普段の生活に/節約傾向

夏休み中のこどもの食事やおやつ、飲料に工夫 暑いのでなかなか食事を食べずにアイスや飲みものばかり。冷麺やスタミナのつく井、こどもの好きなカレーなどを。また、飽きないようにメニューを工夫して食べさせる。

お盆

秋の味覚が始まる

お中元ギフト 帰省ギフト ふるさとギフト 敬老の日ギフト

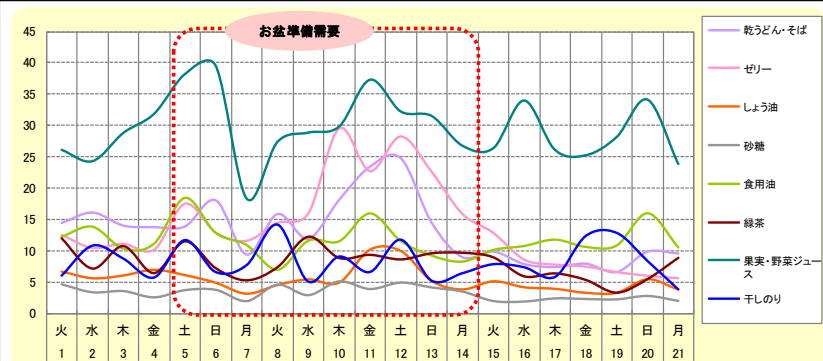
8月の野菜 かぼちゃ、ピーマン、枝豆、新しょうが、オクラ、とうもろこし、なす、サニーレタス、とうがんと、きゅうり、レタス、グリーンボール、とまと、ずいき、みょうが

果物 ぶどう、マスクメロン、なし、こけもも、すだち、すいか、いちぢく

鮮魚 つばす、あいなめ、たちうお、いいだこ、うるめいわし、すずき、しじみ、あわび、はぜ、すめいか、あなご、あじ、かます、しまあじ、まだこ、いしもち、うなぎ、刺し身、わたりがに、はも、ひいか、まいわし

● 昨年の消費支出金額の推移より、月度の歳時記動向/季節動向の実態を読み込みます。

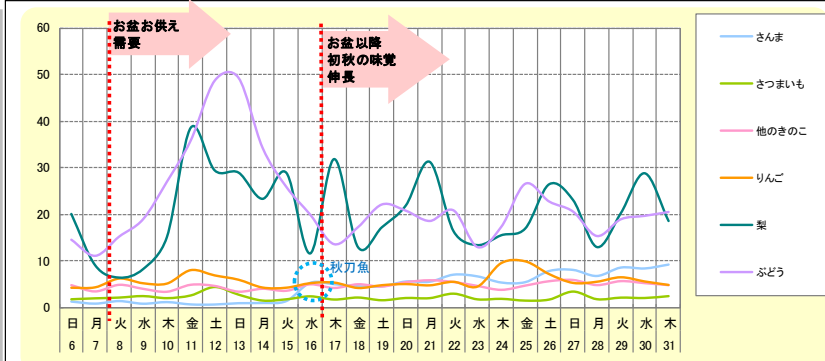
お盆準備の食材・基礎調味料の消費動向は？



「お盆には帰省して3世代での団らん。シニアをコアにしたお盆の団らん提案を強化」

基礎調味料や飲料などの早めに準備しておくもの、素麺(乾うどん・そば)などのお供え需要品目、帰省する時の手土産にも使われるゼリーなどの直前需要品目などに分類できます。迎える側の準備は1週間前ぐらいから始まるようです。山の日の祝日が出来て、2017年のお盆の帰省ラッシュは8月11日(金・祝)と12日(土)がピークに、Uターンラッシュは8月13日(日)と15日(火)に分散傾向。お盆休みは「6日以上」が35%、2013年以来最高に※ソニー損保、「お盆の帰省に関する調査(2017年)」

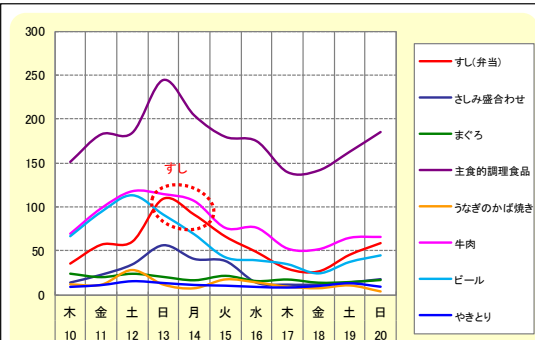
秋のはしりの「旬」動向は？



「果物などの青果物はお盆をきっかけに、秋刀魚はお盆後から消費が増えていく」

9月に主力となる「梨」や「ぶどう」などの果物は、お盆の御供えで消費に弾みがつくようです。お盆帰省Uターン後には秋刀魚が伸長してきます。(2017年は16日から) またお盆後には初秋の旬商材の梨やぶどうが実需要で伸長してきます。残暑が厳しい中、初秋の味覚がプロモーションの切り口となります。

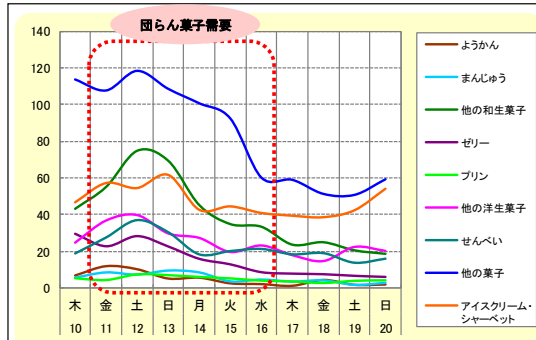
お盆のごちそう消費動向・傾向は？



「今年は15日が水曜、2連休の前週末が団らんピークか？」

お盆が週末に重なる年のハレピークは一山型になります。山の日の祝日でお盆休みが大型化する傾向です。昨年は11日が金曜日で金～日曜日の3連休が団楽のピークとなり、15日には帰省Uターンのピークになりました。またお盆休みが長期化した分、休みの前半で夏の行楽、後半で帰省という行動も見られるようです。

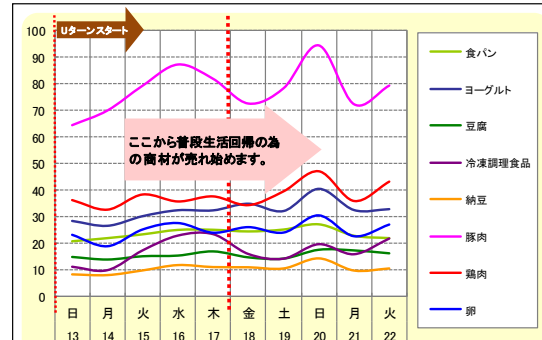
団らんの笑顔の中心には「お菓子」がある。



「菓子の動向でお盆マーケットが判ります」

帰省みやげとしての商品傾向のある「他の菓子」は12日がピーク。「他の和生菓子」はお盆前後の団らんでの消費が考えられます。また、お菓子類の消費には帰省だけでなく、帰省Uターンでのふるさとギフトのニーズが有りますので要注意です。(15日・16日の消費)

盆明けの普段性の食品の消費は？



「帰省Uターン以降、普段性食材が伸長」

2017年は帰省Uターンのピークは13日と15日となりました。Uターン後は普段性食材(いわゆる冷蔵庫補充需要)の消費が伸長しました。今年は15日が水曜日のため、Uターンラッシュは15日から始まり16日に集中する事が予測できます。ですので普段性食材もそこから伸張し始めると考えられます。